

## Ⅸ 特色ある公民館活動

### 「公民館と国際交流」

太宰府市 吉松共同利用施設 公民館主事 百田 澄雄

#### (1) 吉松区の概要

吉松は、市の北西に位置し水城跡を境に大野城市と隣接し、JR 水城駅より徒歩 5 分程でございます。公民館は、平成 4 年 3 月に公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律（昭和 4 2 年法律第 1 1 0 号）の適用により吉松共同利用施設として新たに建設されました。人口については、昭和 5 7 年 4 月 1 日の市制施行時 5 6 9 世帯、 1, 9 8 7 人でありましたが平成 2 3 年 1 2 月 1 日 1, 4 1 2 世帯、 3, 7 4 7 人と約 2 倍の増加であります。

このような状況でありますことから、当然転入者の中に外国人の方も居られますので、地域に早く馴染んでいただくためにも交流の場として各種事業を展開いたしました。

#### 区民の人口推移

年月	世帯数	男	女	計
昭和 57 年 4 月	569	978	1009	1987
昭和 62 年 4 月	703	1184	1195	2379
平成 4 年 4 月	841	1307	1380	2687
平成 9 年 4 月	1012	1492	1604	3096
平成 14 年 4 月	1096	1547	1628	3169
平成 19 年 4 月	1158	1541	1601	3142
平成 23 年 11 月	1412	1819	1928	3747

#### (2) 事業概要

##### 「小さな国際交流」

##### ●子どもハンゲル教室

・昭和 5 4 年 4 月に太宰府市と韓国扶餘邑との姉妹都市締結されたことにより子どもたちが通う学校も平成 元年 1 1 月に 太宰府西小学校が大韓民国百濟初等学校と姉妹校締結、平成 1 1 年 1 1 月に水城西小学校が大韓民国窺岩初等学校と姉妹校締結、太宰府西中学校が百濟中学校と姉妹校締結したことにより、学校間の交流が始まりました。

・交流をする中で子どもたちがコミュニケーションを図るためにも韓国語が話せればとの父兄からの強い要望でありました。

・講師選定については、財団法人太宰府市国際交流協会の協力を得て依頼いたしました。

- ・実施時期としては、 8月(夏休み)、3月(春休み)に3～4日間で調整しています。
- ・参加費は子どもたちは無料としています。

近年の参加状況

(人)

年	17	18	19	20	21	22	23	計
夏休み	15	10	10	6	12	9	9	71
春休み	6	7	9	8	8	6		44
合計	21	17	19	14	20	15	9	115

### ●料理教室

転入者や国際交流協会での知人に講師として依頼する。

年2回実施、参加費は500円(材料代)とし参加人数20名以内としている。

- ・今まで取り組んだ外国料理(韓国・中国・タイ・台湾・イラン・インド・ロシア・メキシコ、ハワイ)
- ・日本料理(来日の記念として学びたいと、外国人の方からの要望で実施)

### ●その他の実施事業

- ・卓話 太宰府市国際交流協会が主催する弁論大会で、発表された方に地域でも話して頂けないかと依頼し、承諾を頂いた方をお願いしている。

今までに、以下の卓話を実施した。

- ・韓国 「韓国青年からみた今の日本、日本の子育てと韓国の違い」
- ・中国 「文化の違い」
- ・イラン 「文化の違い」
- ・インド 「文化の違い」
- ・モンゴル 「文化の違い」
- ・区文化祭への参加 地域にうちとけ、近隣の住民の方と顔見知りになって頂くために、お国料理持って参加する。

コーナー出店(インド・韓国・メキシコ)



### (3)事業予算

年間23万円で、子育て支援事業と小さな国際交流事業を実施している。

### (4)成果と課題

成果としては、いろいろな事業を展開する中で、子どもたちは何の違和感もなく交流している。このような状況を見て親も関わりを持ち、地域の中に交流の輪が広がってきたことである。

課題としては、参加者や地域負担を軽減するために、企業・各種団体等を活用し経費削減に努めると共に、外国人の方も区民の一員としてボランティアに参加願うこと。

交流できた方々の国へ区民の皆様と一緒に視察旅行を実施すること。

### 問合せ先

〒818-0137 太宰府市吉松3丁目10番15号

吉松共同利用施設 TEL・FAX：092-924-6903

メール：yoshimatsuku@dzf.css.ne.jp